



今年は暦の関係で2月2日が節分でした。吉野山では「福は内 鬼も内」と唱え、例年どおり盛大に鬼火の祭典(節分会)が開かれたようです。吉野小の小学生は、半透明のプラスチックカップに思い思いの絵を描きました。その中に火を点したろうそくを入れて灯籠にし、吉野山の方々がそれらを金峯山寺の境内に、夜の吉野山を彩るよう並べてくれました。

節分の次の日は立春です。しかし、春は立たず。立春後すぐの一週間はこの冬一番強い寒波が来て、大変寒い日々になりました。

白い息を弾ませながらも活動をすすめる子どもたち。中学校3年生は入試が本格的に始まりました。今までつけた力が全部出せるように自分で心がけ、周りの支えを受けながら自分を見つめる日々になっていますね。ずっと探している理想の自分に、カッコいい自分に近づけるよう、今できることにしぶとく向き合い続けて欲しいと思います。最後まで応援します。

中学校3年生が入試を迎えている今、実質上、中学校2年生と1年生が吉野中学校の雰囲気を作っています。みんなが楽しいと感じられる雰囲気でしょうか。どうでしょう。足を止めて、日々の生活を振り返ってみましょう。学校の雰囲気を「校風(こうふう)」と言います。よりよい校風づくりのため、皆さんとともに考え、活動をすすめていきたいです。

小学校では、冬の体力作りの一つとして長縄とびをしています。学年毎に一つか二つのチームを編成し、8の字を描くように一人ずつ縄をとんでいき、三分間で何回とべるか記録をつけていきます。

練習を重ねると、回す縄のリズムをつかみ、縄に入ってとんで抜けられるようになります。「はい。はい。はい。」といったかけ声が自然とチーム内から生まれ、とぶ番ではない人たちが、とぶ番の間をとばせてやろうと懸命になります。みんながみんなで一つになるいい光景です。

長縄とびを終えた子どもたちが、とべた回数を報告しに来てくれる自信満々のうれしそうな顔を見ると、私もうれしくなります。思っていたほどとべなかったときのくやしそうな顔を見ると、私もくやしくなります。しばらくは、各チームの目標回数を達成するために練習する日々が続きます。

中学校思春期教室(1月30日)

ゲストティーチャーをお招きし、自分らしさをどのように表現するのか。周りの人がその人らしさをどのように受け入れるのか。それらを通して、多様性を尊重した共生社会をどのように築いていくのかを考えました。心の変化や身体の変化の感じ方は人それぞれであること。そして、変化の感じ方は様々なものがあることを、あたたかみのある語り口調で話してくださいました。

誰もが自分の力を発揮して自己実現ができる社会づくりの担い手としてスタートラインに立っている生徒たちにとって、とても有意義な時間だったと思います。

小学校授業参観・懇談会(1月31日と2月7日)

ふだんの授業形式、調べたことの発表形式等、今、子どもたちはこのようなことをがんばっていますよ、学んでいますよといった授業を担当の先生方は準備しました。子どもたちは、緊張しつつも授業参観を楽しみにしているようです。これは、今も昔も変わりませんね。

懇談会では、子どものこと、学年のことをたくさん話し合ってくださいありがとうございました。今後も、子どもたちの望ましい成長に向けて、ともに考えていきたいです。

学校保健安全委員会(2月3日)

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、委員の皆さまに参集いただき、健康安全、身体作り、食育等について、本年度の学校の取組を報告いたしました。

これらの取組は、発達期にある子どもたちにとって大切なものばかりです。生涯にわたって健康でいられるように、今からの身体作り、生活習慣作りが必要です。家庭と学校がともに連携し、専門的知見をお持ちの方々から助言をいただきながら、子どもたちの人生の大切な根っこ作りを担えたらと思っています。

小学校全校朝会(2月3日)

児童会が主催しての全校朝会を体育館で開きました。元気なあいさつの声をかけてもらおうと、身体に内蔵されているあいさつメーターが増えていくあいさつキャラクター「さくらまる」。あいさつメーターがまんたんになったことを報告する集会でした。

クイズや間違い探しといった楽しいゲームを準備するにとどまらず、最後には、「さくらまる」の正体を紹介するなど、盛りだくさんの内容でした。児童会の皆さん、楽しい集会の準備をしてくれてありがとうございました。これからも、みんなの元気なあいさつを見守ってください。2月7日、朝の南門前手ふりあいさつで、手ふり人数の新記録が誕生しました。ありがとうございます。